

### 子育て支援・教育実践センター



「こいっくおぐ」「こいっくべん」では、地域の子育て家庭に対するサポートの機会と場を提供しています。「こいっくおぐ」は小倉キャンパスにて約 9 年間、「こいっくべん」は弁天キャンパスにて約 5 年間運営をしています。

### って知ってますか？

#### 親子がリラックスして安心に過ごせる場所を。



現在、コロナ禍において親子で遊べる場所が制限されるなか子育て支援・教育実践センターのような場所があるのは嬉しいとの声が聞かれます。コロナ禍の開室にあたり、人数制限のある予約制となりました。ご利用の親子には入室時に手指の消毒、検温、健康チェックリストへの記入などにご協力いただいています。毎回、親子が帰った後は玩具、床、ドアノブなどの消毒を保育士スタッフがを行っています。消毒作業は実際に見えない部分ではありますが、安心して過ごしていただくために大事な業務です。そして、こんな時だからこそ、屋外での活動も親子で楽しめる機会をつくっています。親子の体調や天候にもよりますが、学園内にある共生の森を散歩しています。ダンゴムシやチョウ、メダカなどを発見できますよ。

また昨年度、学園内の畑で芋堀をしたところ親子に大変好評でした。そこで、今年も「こいっく畑」が学園内に誕生しました。親子が楽しめる、わくわくできる体験をと、当副センター長の久留島先生が作ってくれました。

子育てを通して生まれる人と人とのつながりを大切に、親子がやすらぎと安心、育ちあう喜びを感じていただけるように、スタッフ一同、ご利用を心よりお待ちしております。



子育て支援・教育実践センターの HP には「こいっくなう」という、当センターや育児に関する記事を作成しています。よかったらご覧くださいね。



ママになった卒業生が遊びに来てくれることも多いんですよ♡

### ～ゼミ活動で“森のおはなし会”を開催しました～



5 月 14 日 (金) にゼミ活動で、学内にある植草共生の森でこいっくを利用している親子をご招待し、「森のおはなし会」を開催しました。開催までには私たちがコロナ禍でできる子育て支援はどんなことがあるのか、ゼミのメンバーと話し合いを重ねました。感染予防のため屋外にある植草共生の森を会場にし、手遊びと大きな絵本の読み聞かせをしました。森の中で行うことで、虫の鳴き声や風の音を感じるなど、通常のおはなし会とは違った面白さを感じていただけただけではないでしょうか。子どもたちは植物を観察したり走ったりしている様子が見られ、屋内遊びの時とは違う姿を見ることができたので、とても嬉しかったです。おはなし会が終わった後、ゼミ



大学 発達教育学部 発達支援教育学科 4 年 棚橋 由佳  
千葉県立船橋二和高等学校出身